

第1回くらし・き・になるミーティング議事録概要

くらしきになるミーティング

令和4年11月25日18:30~20:30 (新溪園敬俟堂)

参加：24名（事業者・行政・教育機関・各種団体・商店街・町内会など）委員会より8名・・合計32名

・開会と会の趣旨説明

今ここにある・これから創る・まだ見えない 未来へ はじめの一步から

倉敷市重伝建地区及び美観地区を中心とした、歴史的建造物群が残るエリアで暮らす・働く・活動する・学ぶ・楽しむ市民・各種団体・事業者が連携して町並み保存とまちなか創生に取り組みを進めるため、倉敷美観地区及び周辺地域未来ビジョン検討委員会（倉敷伝建地区をまもり育てる会、奨農土地株式会社、NPO法人倉敷町家トラスト）を立ち上げた。事業の概要の説明と今後について、意見交換の場を持ち、今後勉強会や、研修、展示活動、事業等を通じて多様なプレイヤーと繋がりつつ、エリアプラットフォームの構築を目指し、エリアの未来ビジョンを検討、策定を進める。

1. 事業説明（倉敷市から）

国土交通省の官民連携まちなか再生推進事業であることの概要説明

2. 委員会から事業への思いと地域の現状報告

倉敷のまちの物理的な発展過程の概略：物流、政治、産業、そして行政施設や、産業施設と時代の変遷とまちの成長を説明、1963年の鳥瞰図・町並みの写真などスライドで説明、伝建地区以外の町並みも瓦屋根の伝統的な木造建築物が町並みを構成していた。その後、エネルギー、移動手段、行政機関の移転、郊外への商業施設の移転と建設などで中心市街地の景観が変化した。重伝建地区の周辺の建築物は多くが改修・更新・解体が進みモザイク状になり、歴史的都市景観が失われていることを説明。ただ旧街道沿いは残存町家も残っており、今回のエリア設定はそのような歴史的都市景観が残る地域を設定したことを説明。

3. グループワーク「未来のまちの機能」と「まちの姿」の二つのテーマでグループワークを実施した▶内容は別紙資料

4. 次回2023年1月27日（金）18:30~20:30（新溪園敬俟堂）で開催を決めたのち閉会

国土交通省補助金採択事業 官民連携まちなか再生推進事業

くらしきになるミーティング

2022.11.25(金) 18:30~20:30 新深園 敬徳堂にて開催

〜グループワーク〜

テーマ① 未来のまちの機能

暮らし・観光・商業・文化・教育・福祉など

中心安全なまち

住居 店 観光
3方良の案を!

2Fを住居に

観光地で
"暮らし"
宿泊体験

美味しい

倉敷と言えは"コト"
名物を作る!

美観地区
観光地のため
ファミリー向けに
観光地と住居を
分け

駅から
見える
倉敷駅
美観
地区

文化的エリア
作る
奥倉敷

どんなまちに住みたい?

テーマ② まちの姿 景観・人・雰囲気

キレイな川が
流れるまち

子どもが
中心の町

若者が
自衛隊と
変化していく町

世代を超えた
つながり

学区が
住みやすいまち

"教育"のカテゴリで
"旅"が
できるまち

観光客や地元の人
交流できるまち!

景観のガイドラインが
ある
"住"と"観"バランスの良いまち

キーワード 交流・美しい風景・世代間交流・安心安全

まとめ 歴史的なまちを守っていくために
計画(ビジョンルール)を住人や事業者と共に考える

アンケート集計結果（9名：複数選択可）

興味・関心のある活動テーマを教えてください

9件の回答

